

第 3 期大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略の 一部改訂案 (具体的目標 (KPI) の一部更新)

○具体的目標（KPI）の更新

I 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現

基本目標「①これからの大阪を担うひとをつくる」

具体的目標（KPI）「英語力を有する生徒の割合」の目標値及び目標年度を更新

【更新の理由】

目標年度に到達したため。

【更新の考え方】

「第2次大阪府教育振興基本計画 前期事業計画」に基づき更新。

現行の具体的目標（KPI）	更新後の具体的目標（KPI）	戦略策定時の数値
○英語力を有する生徒の割合：56% （2025年度）【目標は毎年度更新】 （中3：CEFR※ A1レベル（英検3級相当）以上、 高3：CEFR A2レベル（英検準2級相当）以上）	○英語力を有する生徒の割合：60% （2027年度まで） （中3：CEFR※ A1レベル（英検3級相当）以上、 高3：CEFR A2レベル（英検準2級相当）以上）	【2023年度】 中学校3年生：51.2% 高校3年生：56.2%

※CEFR（Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment）
：外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠のこと。語学シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のために、透明性が高く、分かりやすい、包括的な基盤を提供するものとして、平成13（2001）年に欧州評議会が発表。

○具体的目標（KPI）の更新

I 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現

基本目標「②結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

具体的目標（KPI）「女性活躍推進法に基づく推進計画の策定市町村数」の目標年度を更新

「6歳未満の子どもを持つ夫の育児・家事関連時間」の目標値及び目標年度を更新

【更新の理由】

目標年度に到達したため。

【更新の考え方】

「おおさか男女共同参画プラン（2026-2030）」に基づき更新。

現行の具体的目標（KPI）	更新後の具体的目標（KPI）	戦略策定時の数値
○女性活躍推進法に基づく推進計画※の 策定市町村数：2025年度までに全市町村	○女性活躍推進法に基づく推進計画の 策定市町村数： 2030年度 までに全市町村	【2023年度】 41市町村
○6歳未満の子どもを持つ夫の育児・家事関連 時間：2025年度までに 120分/日以上 (土日を含む週全体の平均)	○6歳未満の子どもを持つ夫の育児・家事関連 時間： 2030年度 までに 140分/日 以上 (土日を含む週全体の平均)	【2021年】 102分/日

※女性活躍推進法に基づく推進計画

：女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づき、働く場面において女性活躍を推進するために、地域の特性を踏まえた施策をまとめたもの。

○具体的目標（KPI）の更新

Ⅱ 東西二極の一極としての社会経済構造の構築

基本目標「④ひとが集まる大阪をつくる」

具体的目標（KPI）「日本人延べ宿泊者数（大阪）」の目標値及び目標年を更新

「来阪外国人旅行者数」の目標値及び目標年を更新

【更新の理由】

目標年度に到達したため。

【更新の考え方】

「大阪都市魅力創造戦略2030」に基づき更新。

現行の具体的目標（KPI）	更新後の具体的目標（KPI）	戦略策定時の数値
○日本人延べ宿泊者数（大阪） ：3,400万人泊（2025年まで）	○日本人延べ宿泊者数（大阪） ： 3,700万人泊（2030年まで）	【2023年】 3,195万人泊
○来阪外国人旅行者数 ：1,500万人（2025年まで）	○来阪外国人旅行者数 ： 2,300万人（2030年まで）	【2023年4～12月】 795.8万人

○具体的目標（KPI）の更新

Ⅲ 人口減少・超高齢社会でも持続可能な地域づくり

基本目標「⑤住み続けたいまちをつくる」

具体的目標（KPI）「温室効果ガス排出量」の目標値を更新

【更新の理由】

温室効果ガスの排出量算定にあたって使用する係数について、2030年度の国の想定値を用いて再計算したため。

【更新の考え方】

「大阪府地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき更新。

現行の具体的目標（KPI）	更新後の具体的目標（KPI）	戦略策定時の数値
○温室効果ガス排出量 ：2013年度比40%削減【2030年度まで】	○温室効果ガス排出量 ：2013年度比48%削減【2030年度まで】	【2021年度】 2013年度比24.3%削減